

やらねばならぬ 通信



岐阜県庁公式HP



松岡正人WEBサイト



経験を活かして

「お役に立てる議員」を目指して

日頃から多くの皆さんのご支援とご指導をいただきながら、県議会議員として「人口減少に負けな岐阜県づくり」、「活力ある、安心して暮らせる各務原」をめざして活動させていただいております。4度目の当選をしながら4年が経とうとしており4月には任期満了を迎え、新たな挑戦に向かって突き進んでいます。今期は、各務原市選出としては4人目となる副議長も経験させていただきました。

中堅議員として着実に福祉や教育、産業振興などの施策実現と各務原市関連事業を推進してまいりました。皆様の代弁者としてご要望をお受けしながら、公共の福祉「みんなが幸せであること」、それを支える「活力あるまちづくり」をスローガンに、経験を活かして「お役にたてる議員」を目指して一層頑張つてまいります。

皆様の想いを受けとめて着実に施策を実現できる議員を目指します!!



4年間の活動を振り返る

4期目当選後、1年目には農林委員会委員長を仰せつかり、6次産業化や機械による省力化、担い手育成などに取り組みました。議員になる前にNPO法人の役員として農林業振興に取り組んだことがある私としては、たいへん有意義で貴重な経験をさせていただきま



▶県政自民クラブ代表質問

した。2年目は、「コロナウィルス感染症がまん延するなかでその所管をする厚生環境委員会に所属して、感染防止や各種対策、支援に携わることが出来ました。3年目は、副議長として議会を代表しての活動や取り組みをさせていただき、土木委員会にも所属して基盤整備事業を推進いたしました。任期最後となる今年度も土木委員会に所属して、新規事業の事業化への働き掛けや都市公園整備に取り組んでいます。あつという間の4年間でしたが、地元各務原市に関する事

業の促進については、道路関係だけではなく、県有施設の拡充、産業振興や教育、福祉、コロナ対策と支援など、10年以上にわたる県議会議員の経験を活かして着実に成果に結びつけられたと感じています。「コロナとの戦い」という期間が長く続いていますが、アフターコロナに向けて活力ある安全安心な岐阜県づくりに邁進しようと思っております。

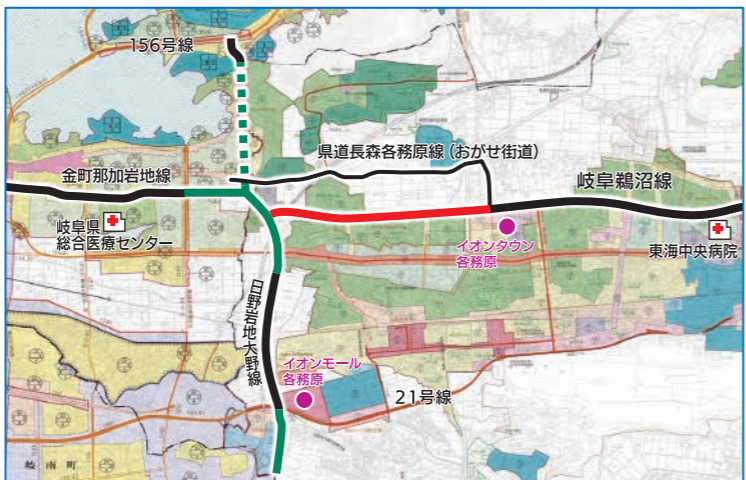


▶議長席にて議事遂行

「いのちの道路」西へ

各務原市内の県関連基盤整備事業で、県議会議員になった当初から最も力を入れてきた1つが、都市計画道路岐阜鶴沼線の新規事業化です。この路線は、既に各務原市内で東海中央病院の北側が4車線化されており、岐阜市内で金町那加岩地線として既に4車線化されている岐阜県総合医療センター北側の路線に繋がる道路です。「いのちの道路」として、東西につながる計画の路線ですが、

新境川を挟んでその中間の区間が未完成です。10月13日、岐阜県副知事をはじめとする幹部職員による「新規公共事業計画委員会」で、新境川の新たな架橋を含む岐阜鶴沼線の1部（全体計画2.5kmのうち700m）が、令和5年度新規事業箇所として承認されました。厳しい財政状況ではありますが、少しでも多くの予算を付けて早期の完成に向けて全力で取り組めます。



岐阜総合医療センターと東海中央病院をつなぐ「いのちの道路」

■ 新規事業化
■ 事業中
■ 完成

日野岩地大野線を市と県が役割を決めて完成した結果



各務原市西部の道路整備は、岐阜各務原ICから北へアクセスする日野岩地大野線、岐阜市街地から各務原を結ぶ金町那加岩地線、そして各務原市を背骨のように東西を貫く岐阜鶴沼線の3路線を各務原市と岐阜市そして岐阜県が役割分担して進められています。この分担

県と各務原市が役割分担をして整備が進んだのを機として、岐阜市も含めた市境界の道路整備の役割分担へと発展しました。10年以上前に、日野岩地大野線の整備について、各務原市の幹部や県の担当職員に個別に何度も面談して働きかけて、時間がかかりながらも苦勞して実現した事を思い出します。

着々と進んでいる

県関連の基盤整備事業



▶川島大橋視察時のインタビュー
完成後、新たな橋の計画が固まりつつあり復旧に向けた工事が進んでいます。

皆様からの要望で整備事業化している道路改修

- 21号線イオン交差点以南の「三輪川島線」拡幅事業
- 前渡地区芋島鶴沼線の歩行者安全確保のための標識や道路標識の拡充
- 三井町地内、21号高架下から三井街道の拡幅工事
- 21号線芋ヶ瀬町地内の歩行者安全確保のための交差点改良と拡幅工事

▼地域の皆さんと知事への要望

木曾川の魅力づくりと情報発信

木曾川の活性化については、2019年12月岐阜県議会の一般質問で、私から「清流の国ぎふ」としての木曾川に対する取り組みを提案しました。その結果、「木曾川再発見プロジェクト」が立ち上がりました。そして、2020年11月国土交通省木曾川上流河川事務所が、美濃加茂市、各務原市、可児市、坂祝町、愛知県の犬山市、江南市、扶桑町の5市2町による「木曾川中流域がまちづくり協議会」を設立しました。続いて、2021年7月岐阜県を主体とした「木曾川中流域観光振興協議会」が発足しました。



▶2022.11.3 木曾川畔での県政報告

新たな木曾川の歴史づくり

木曾川を挟んだ美濃と尾張の歴史は「争いや戦いの舞台」でしたが、岐阜県と愛知県の県境を越えた連携で「融和と共存の歴史」を創出したいという夢が私にはあります。11月3日秋晴れのもと木曾川河畔において、木曾川に関する取り組みを皆さんに報告させていただきました。11月5〜6日には、昨年10月の「みんなで木曾川」に続いて、2回目のイベントが美濃加茂市や各務原市を舞台に県事業として「RIVER TO SUMMIT」が開催されました。



▶2022.11.6 RIVER TO SUMMIT 鷺沼南町木曾川河畔イベント

今後、木曾川中流域の活性化に向けた魅力づくりや対外的な発信の取り組みが一層推進されるように頑張っていく予定です。

スポーツレクリエーション振興

学生時代に競技したバドミントン、次男がお世話になった野球競技、岐阜県が条例を策定する際に関わりができたレクリエーションの協会や団体の役員を務めながら、スポーツやレクリエーションの振興に取り組んでいます。



▶2019.5 韓バドミントン交流会 日本チーム監督として

2022レクリエーションフェスティバル少子化や教員の働き方改革などの影響で、中学生の部活動をはじめとするスポーツ活動の環境は大きく変化していますが、好きな種目を格差無く選択して指導を受けられるような時代に合った環境づくりが必要です。また県条例の文言に「幼児からシニア世代まで」と盛り込む提案をしたことを踏まえて、体を動かせる環境づくりの施策として、レクリエーション普及は「体を動かす機会」の提供という想いで活動支援をしています。

子どもたちに夢と未来を!! グローバル人材育成支援

「グローバル人材育成支援」が「セカンドプロジェクト」というグローバル人材育成に関する事業に参画させていただいています。海外から岐阜県にゆかりのある人が講師となって、NOWNによって授業をします。蘇原第一小学校や長良高校で実施され大きな成果が生まれており、今後世界に岐阜県人会の方々や協働して開催していく予定です。そうした関わりから、10月の岐阜県人世界大会での「海外遊学支援プログラム」では、海外での活動を目指す若者のプレゼンコンテストの審査を教育長と共に務めました。

岐阜県人世界大会の大きな成果

世界中から岐阜県に縁のある方が約600人集結した岐阜県人世界大会が、10月末に開催されました。視察の際にお世話になったご縁で、岐阜県人インターナショナル(GNIS)という世界23か国にある県人会組織として、コロナ禍にあっても活動をバックアップしてきました。「岐阜愛」を持った「世界で活躍する岐阜人」たちによって、世界中に岐阜県の魅力発信や県産品の販路拡大に繋がる素晴らしい大会になりました。

産業人材育成支援

「ものづくりのまち各務原」、製造品出荷額19年連続で岐阜県内第1位の各務原市にとって、産業人材育成は不可欠で重要な施策だと考えて取り組んでいます。議員になってから、高校と専門学校の連携や工業高校支援、更には特別支援学校の就労支援として技術指導協定締結など積極的に関わってきました。産業技術習得のための施策についても、テクノプラザの設備導入やタブレット端末の活用など、関係各所に具体的に提案してきました。

「豊かなまち各務原」の未来に向けて、教育施策に取り組んでまいります!!



▶遊学支援プロジェクト教育長と審査委員

県新庁舎 開庁

岐阜県の庁舎と議会棟が新たに建設、昨年12月16日に竣工された年末年始に引越し、1月4日に開庁しました。県産材やタイル、美濃和紙などを活かしたデザインで、岐阜県の魅力を発信する拠点となる庁舎です。20階には、

災害対策中枢拠点として危機管理機能と設備を拡充



▶ぎふ結のもりからの行政棟21階と議会棟6階



▶ぎふ結のもり全景

開放感に満ちた周遊できる展望ロビーがあつて、伊吹山や金華山など360度岐阜の景色が愉しめます。6階建の新たな議会棟で初めて開催される3月県議会定例会を傍聴しながら、岐阜県の新たなシンボルを視察に来ていただければと思います。

▶新議会棟の議場

「ぎふ結のもり」県庁舎北側には、「ぎふ結のもり」という公園が、「県民が集い親しまれ、地域の魅力を発信する」という基本方針で整備されました。岐阜県の山並みを「緑の丘」に、

清流を「レインガーデン」に見立てて、公園全体で岐阜県の自然を表現しています。「むすび、いかし、つながる」場として、親しまれる公園になってほしいという想いが込められています。

松岡正人 Profile

1963年 各務原市生まれ
子苑幼稚園、那加第二小学校、那加中学校、岐阜高校
学生時代はバドミントン部
中・高・大学を通じて全国大会出場
1986年 同志社大学経済学部卒業
十六銀行入行
銀行退行後、保険代理業独立開業
消防団や各務原青年会議所で地域活動やまちづくりに参画
2007年 岐阜県議会議員 初当選(現在4期目)
現在 各務原市バドミントン協会 会長
各務原市レクリエーション協会 会長

【岐阜県議会における経歴】

2012年 厚生環境委員会 委員長
2013年 教育警察委員会 委員長
2014年 総務委員会 委員長
2015年 土木委員会 委員長
2016年 企画経済委員会 委員長
2017年 監査委員
2019年 農林委員会 委員長
2021年 第129代副議長
2021年 土木委員会 委員

おひのまち
人口減少に負けない岐阜県を創る。皆さんと共に実現します!!
岐阜県議会議員 松岡正人
毎日ブログで活動報告をしています

後援会申込み 公式HP やらなあかんブログ

地域健康セミナーのご案内

同級生の医療プロフェッショナルを招いてセミナーを開催します!

2023年1月22日(日) 13:00 受付 13:30 ~ 15:30

あすかホール(各務原市産業文化センター 1F) 入場無料

【申し込み方法】住所・氏名・携帯電話をご記入の上、下記事前申込みをお願い致します。
●定員になり次第締め切らせていただきます。 ※コロナ感染状況で中止になる場合もございます。

1部 講師による専門分野の講演

中外製薬株式会社 代表取締役社長 最高経営責任者 (CEO) **奥田 修氏**

岐阜大学医学部附属病院 乳腺外科 教授 **一村 学 医師**

兵庫医科大学病院 脳神経外科 主任教授 **吉村 紳一 医師**

2部 パネルディスカッション

コーディネーター / 岐阜県議会議員 **松岡 正人**

松岡正人事務所 ← セミナーのお申込みはこちらまで

〒504-0908 岐阜県各務原市那加織田町2-5-1
【FAX】058-389-6676
【E-mail】shiwase@yaranaakan.jp
【TEL】058-389-6665(平日9:30~16:00)